

令和6年度「#あおばな in 柴田学園高校」開催概要

県内の高校生の皆さんに、知事との意見交換を通して県政を身近に感じてもらうとともに、新鮮な意見・発想や県政に対する期待等を把握し、開かれた県政の推進と今後の県政運営の参考にするため、県民対話集会「#あおばな～青森・未来・対話～」を下記のとおり開催しました。

○日時：令和6年11月20日（水）13：40～15：00

○場所：柴田学園大学附属柴田学園高等学校 第一体育館

○参加学生：第3学年 162名

<生徒との意見交換>

代表生徒からの意見について知事と対話をしました。

- ①戻ってきたいと思える青森県の姿について
- ②弘前市中心街の活性化について
- ③外国人観光客が快適に旅行できる仕組みについて
- ④スポーツの活性化について
- ⑤保育士の処遇改善について
- ⑥県内における学ぶ場や働く場の選択肢について
- ⑦過疎地域における新たな移動手段について

上記に係る意見交換の後、約20名の生徒が参加し、野球ボールを使ったゲームを実施して、対話の重要性について考えました。

※知事から生徒へのコメントの一部を紹介します。

- ・君たちが新しい世界を作っていく。君たちは、新しい仕事を作って、世の中は大きく変えることができる。自分でやってみる、やりきるという気持ちを持った若者であってほしいし、期待している。
- ・私たちがこれから向かっていく先に、本当の意味で正解はない。行き詰まることや、うまくいかないこともあると思う。その時は、周りの人を巻き込こんで、周りの意見を聞き、あるいは自分の意見を伝えることで、きっと新しい答え、みんなが納得する答えにたどり着くと思う。ぜひ今日の対話集会を心に留めて、それぞれの夢に向かって成長してほしい。

